

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域参加は、できる範囲で行っているものの、事業所の取り組みなどを伝えるには至っていない。	地域に向け、事業所の取り組みなどを理解していただき、大村市の認知症ほっとライン事業として、地域に密着した事業所を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・年4回のひだまり便りを、町内に向けて配信出来るよう準備を行う。 ・便りの内容に消火器使用の訓練の参加の誘い等も取り入れて配信していく。 	12ヶ月
2	35	いつ何時でも、避難できる確実な避難場所の確保ができていない。	有事の際、すぐ避難することができるよう、入居者、職員の負担が少ない安全な避難場所を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地を探し出す。 ・有事の際の避難場所として承諾してもらえる場所の中から決定し周知徹底を図る。 	4ヶ月
3	34	感染対策がほぼできていなかった事でクラスターとなってしまった。	クラスター発生とにならないようにする。職員一人々が自信をもって感染症発生に対処できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症発生時のシュミレーションの徹底(1人1人が確実に出来るようにする) ・施設内に「持ち込まない」「拡げない」対策の徹底 ・体調がいつもと違う場合は報告、出勤しない ・感染予防対策の徹底 ①入居者と職員の手指消毒の徹底 ②換気を充分に行う(空気の流れを考える。サーキュレーターの使用等) ・発生時点での職員等への周知 ①個室隔離 ②職員の感染防護 ③感染者の行動範囲の消毒 居室・当該利用者が利用したスペースの消毒・清掃 ④物品の在庫確認 	12ヶ月